

画像データ自動配置ソフトウェア

**iLine** Ver.1.0J

アイライン

# 取扱説明書

シンボリック・コントロール株式会社

有限会社アルファ・プロンプト

- ◆iLine はシンボリック・コントロール株式会社と有限会社アルファ・プロンプトの著作物であり、著作権その他の権利は両社に帰属します。
- ◆本書はシンボリック・コントロール株式会社と有限会社アルファ・プロンプトの著作物であり、その一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- ◆Macintosh、Apple、OS X は米国 Apple Inc.の米国及び他の国における登録商標です。
- ◆Microsoft Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及び他の国における登録商標です。
- ◆その他、本書に記載されている会社名、商品名及びロゴマークは、各社の商標または登録商標です。
- ◆本書の内容は予告なく変更されることがあります。

## 目次

第一章 概要 .....	3
1-1 本ソフトウェアの特徴 .....	4
1-2 動作環境 .....	5
1-3 ソフトウェアのインストール .....	6
1-4 ソフトウェアの起動と終了 .....	7
1-4-1 起動 .....	7
1-4-2 終了 .....	7
第二章 操作方法 .....	9
2-1 環境設定 .....	10
2-1-1 環境設定画面 .....	10
2-1-2 メイン画面での操作 .....	12
2-1-3 操作方法 .....	14



# 第一章 概 要

## 1-1 本ソフトウェアの特徴

iLine は、様々なサイズの画像を決められた用紙サイズに自動的に配置して Tiff や Jpeg に出力する、Macintosh 用の画像データ自動配置ソフトウェアです。多量の画像をユーザーが個々に配置する必要がなく、自動的に最適な配置を行い、更に配置場所をユーザーが手動で変更することが可能となります。

iLine は主にデジタルプルーフアプリケーションと連動させることで、画像データのバラ校正出力を行う際の労務コストや印刷のランニングコストの軽減が期待されます。

## 1-2 動作環境

本ソフトウェアの動作環境は以下の通りです。インストールを行う前に Macintosh の仕様をご確認ください。仕様が不適切な場合、本ソフトウェアは正常にインストール又は動作しない場合があります。

OS	Mac OS 10.4 以上
CPU	上記 OS が起動する Intel または PowerPC G4/G5
メモリ	2GB 以上 (推奨)
HDD	空き容量 80MB (推奨)
I/F	USB×1、ネットワーク
その他	キーボード、マウス、CD-ROM

## 1-3 ソフトウェアのインストール

本ソフトウェアのインストール作業に必要なものは以下の通りです。作業を開始する前に準備してください。

- ・インストーラ CD

---

### インストールの手順

---

- 1) 全てのソフトウェアを終了してください。
- 2) インストール CD をご使用の Macintosh の CD-ROM ドライブに入れてください。
- 3) CD 内の iLine インストーラをダブルクリックしてください。インストーラが起動します。
- 4) 起動後はインストーラの指示に従ってインストール作業を進めてください。
- 5) インストールが完了すると、アプリケーションフォルダの中に iLine フォルダが作成されます。

**NOTE** アプリケーションアイコンを Dock に登録すると、簡単に iLine を起動することができるようになります。

## 1-4 ソフトウェアの起動と終了

### 1-4-1 起動

iLine を起動する前に、製品パッケージに入っているプロテクトドングルを使用する Macintosh の USB ポートに差し込みます。正常に認識した場合はプロテクトドングル内の LED が点灯します。もし点灯しない場合は、正しくインストールされていない可能性がありますので、再度インストールし直してください。



次に、アプリケーションフォルダ→iLine フォルダの中の iLine をダブルクリックすると起動します。また、Dock にアプリケーションアイコンが登録されている場合は、そのアイコンをクリックすることで起動させることができます。

**NOTE** 再インストールしても LED が点灯しない場合は、プロテクトドングルを差し込む USB ポートを変えてみてください。それでも点灯しない場合はプロテクトドングル自体が破損している可能性がありますので、インストール作業を中断して直ちにお買い上げ頂いた販売店にご連絡ください。

### 1-4-2 終了

メニューバーの「iLine」から「終了」を選択してください。

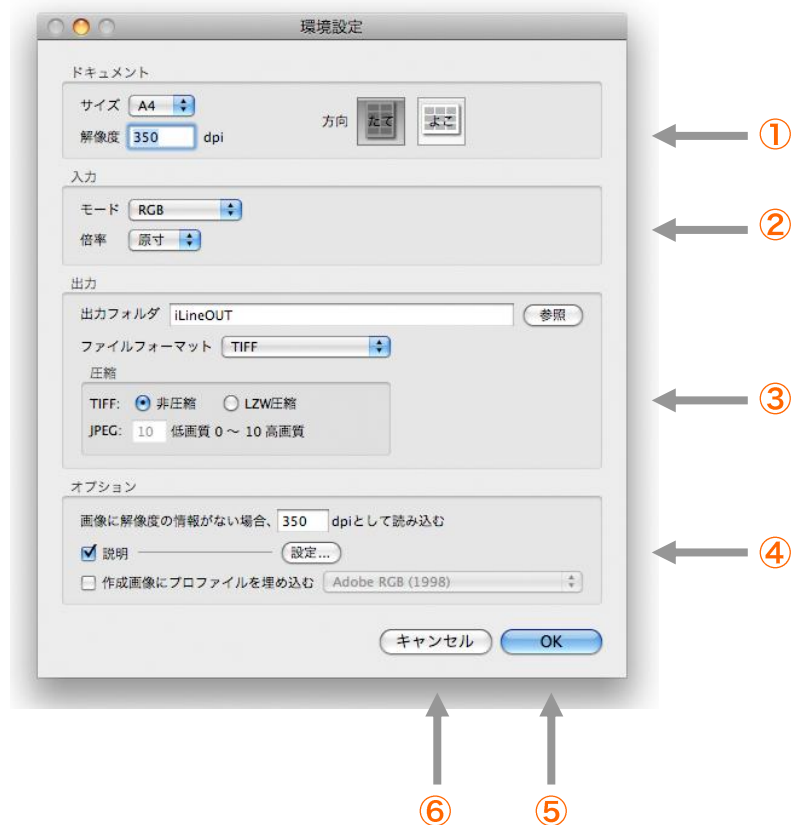


## 第二章 操作方法

# 2-1 環境設定

## 2-1-1 環境設定画面

アプリケーション起動後、またはメニューの環境設定を選択することで表示される画面です。ここでは出力するドキュメントについての設定を行います。



### ①ドキュメント設定

ドキュメントの設定を行います。

**サイズ** : サイズ A0 から A4 まで設定できます。

**解像度** : 解像度 72dpi から 1200dpi まで設定できます。

**方向** : 縦方向、横方向を設定できます。

### ②入力設定

読み込む画像データの設定を行います。

**モード** : 読み込む画像の色空間 (RGB/CMYK) を指定します。

**倍率** : 選択した倍率で画像を配置します。倍率は原寸、75%、50%、30%、25%より選択できます。

### ③出力設定

出力する画像ファイルの設定を行います。

**出力フォルダ** : ドキュメントファイルの出力フォルダを指定します。出力フォルダを指定していない場合は警告を表示します。

**ファイルフォーマット** : 出力するドキュメントファイルのフォーマットを TIFF または JPEG より選択できます。

**圧縮** : 出力するドキュメントファイルの圧縮形態を選択できます。

### ④オプション設定

オプション設定を行います。

**解像度指定** : 解像度が指定されていない画像ファイルについては、ここで指定した解像度で読み込みます。

**NOTE** デジタルカメラで撮影したデータなどは、解像度が指定されていない場合があります。またこのようなデータについては、OS X のバージョンによって扱い方が異なりますので、必ずここで解像度を指定するようにしてください。

**説明** : 画像にファイル名、データ容量と寸法を表示する設定を行います。設定ボタンをクリックすると以下の画面が出て、表示する項目が選択できます。



**プロファイルの埋め込み** : ポップアップボタンからプロファイルを指定することで、出力ファイルに埋め込むことができます。チェックを入れていない場合、プロファイルは埋め込みません。

### ⑤OK ボタン

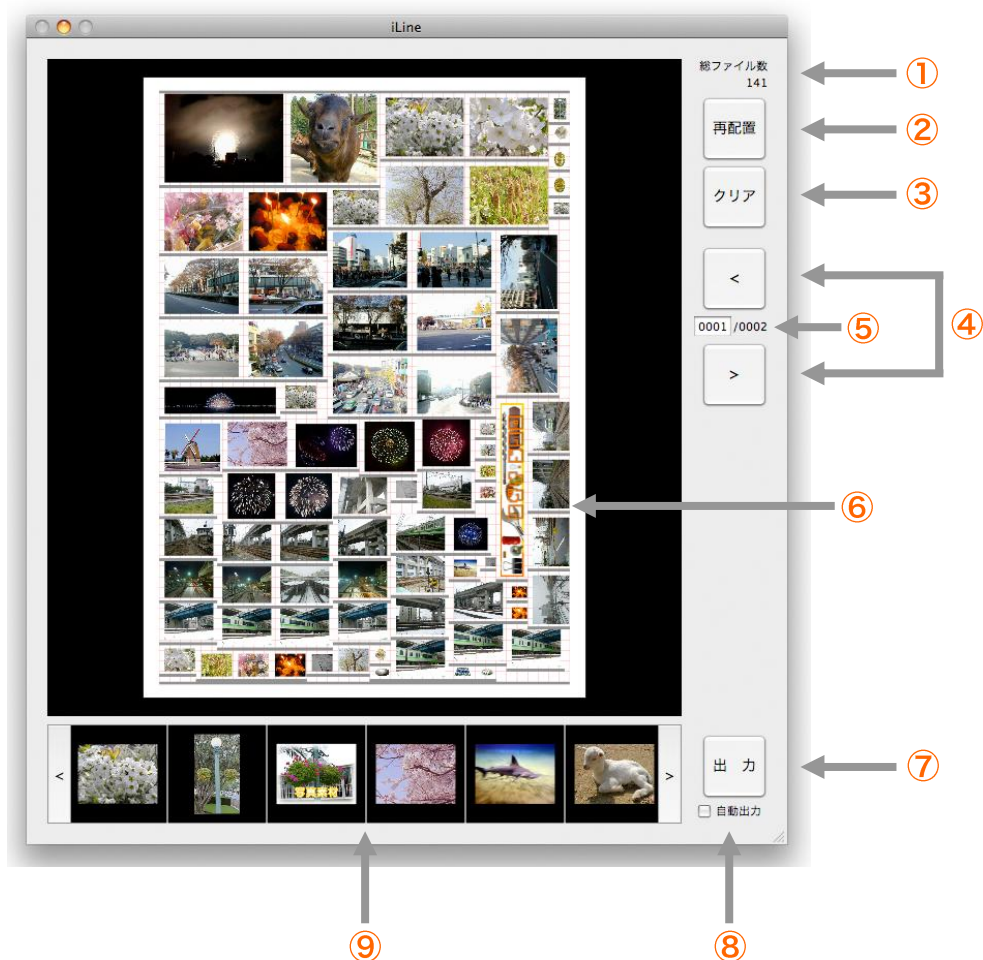
設定内容が確定されて環境設定画面が閉じ、同時にメイン画面が開きます。

### ⑥キャンセルボタン

設定内容がキャンセルされて環境設定画面が閉じます。

## 2-1-2 メイン画面での操作

環境設定画面で必要な項目を設定し OK ボタンをクリックすると、環境設定画面が閉じてメイン画面が開き、設定されたサイズの白紙が表示されます。この白紙内、あるいは Dock の iLine アイコンに、画像ファイルまたは画像ファイルが入ったフォルダをドラッグ&ドロップすると、それらの画像ファイルが白紙内に自動配置されます。



### ①総ファイル数

読み込まれた画像ファイルの総数が表示されます。

### ②再配置ボタン

読み込まれた全ての画像ファイルを再配置します。

### ③クリアボタン

読み込まれた画像ファイルを全て削除します。

### ④ページ移動ボタン

複数ドキュメントが作成された場合、このボタンで各ページを表示することができます。

### ⑤ページ数表示

現在表示されているページ と 総ページ数を表示します。

### ⑥作業エリア

画像ファイルの配置状況をプレビュー表示し、更に手動配置や個別の画像ファイルの削除などの作業を行うことができます。

### ⑦出力ボタン

環境設定で指定しているフォーマットでドキュメントファイルを出力します。

### ⑧自動出力

チェックが入っている状態で読み込まれたファイルは、自動的に環境設定で指定しているフォーマットでドキュメントファイルを出力します。

### ⑨待機画像表示欄

配置されていない画像ファイルがサムネイル表示されます。

## 2-1-3 操作方法

iLine の基本的な操作方法を説明します。

### 画像ファイルの読み込み

画像ファイルまたは画像ファイルが入ったフォルダを、メイン画面の作業エリア内か Dock iLine アイコンにドラッグ&ドロップするだけで、それらの画像ファイルが白紙内に自動配置されます。作業エリア、待機画像表示欄に画像が無い状態で読み込んだファイルは、全てページ内に配置されます。また一枚のシートに配置できない場合は、複数のページを作成します。

作業エリアまたは、待機画像表示欄に画像がある状態で、新たに画像ファイルを追加する場合は、新しい画像は待機画像表示欄に表示します。また指定した表示倍率で配置できない画像ファイルも、待機画像表示欄に表示されます。

**NOTE** iLine で読み込みができる画像ファイルのフォーマットは TIFF、JPEG と PhotoShop-EPS の 3 種類です。そのほかの画像ファイルは読み込むことができません。

### 作業エリアでの操作

自動配置された画像ファイルは、マウスでドラッグすることで自由に配置場所を移動させることができます。また待機画像表示欄にある画像はドラッグ&ドロップで作業エリアに追加することができます。更に作業エリアに表示している画像をドラッグし、作業エリア外でドロップした場合、画像は待機画像表示欄の最後に移動します。

待機画像表示欄にある画像は作業エリア、待機画像表示欄以外の場所にドラッグ&ドロップすると、その画像は iLine から削除することができます。

画像ファイルは指定された用紙サイズにできるだけ多く配置させるため、元の画像ファイルを回転して表示しているものがあります。このような場合、作業エリアで画像ファイルの上で右クリックするとコンテキストメニューが表示され、手動で画像ファイルを回転させることができます。コンテキストメニューの機能は次の通りです。



**画像ファイルの回転** : 回転していない画像ファイルの場合は『反時計回りに 90°回転』が有効となります。また回転している画像ファイルの場合は、『元に戻す』が有効になります。

**削除** : 選択している画像ファイルを iLine から削除します。

**待機へ移動** : 選択している画像ファイルを、待機画像表示欄に画像を移動します。

出力ボタンでファイルを出力した後、待機画像表示欄に画像ファイルがある場合は、自動でそれらの待機画像ファイルをシートに配置します。その場合も、指定した表示倍率で配置できない画像ファイルは、待機画像表示欄に残ったままになります。

更に再配置ボタンをクリックすることで、待機画像にある画像ファイルを含め、全ての画像ファイルを再配置します。

**NOTE** 待機画像表示欄に残った画像ファイルは、環境設定で用紙のサイズを大きくするか、倍率を下げるなど設定を変更することで、配置できるようになる場合があります。

---

## ドキュメントファイルの出力

---

出力ボタンをクリックすると、作成されたドキュメントページを環境設定で指定したフォーマットで全て出力します。またドキュメントファイルは、環境設定で決められたフォルダ内に、出力ボタン押下時の時間を名前とした新規のフォルダ（例：20090721-142030）が自動作成され、その中に出力されるようになります。

**NOTE** 自動出力チェックボックスが ON の状態で画像ファイルを読み込んだ場合、作業エリアには表示せず直接出力します。但し、作業エリアに画像ファイルがある場合や、待機画像表示欄に画像ファイルがある場合は自動出力を行いません。



---

Document No. ILN\_01001

**iLine ver.1.0J 取扱説明書**

平成 21 年 8 月 10 日 発行

**シンボリック・コントロール株式会社**

〒272-0033 千葉県市川市市川南 3-10-6 サウス・アレイ 1 号

TEL:047-325-8397 FAX:047-325-8398

URL : <http://www.symbolic-control.co.jp>

E-Mail : [info@symbolic-control.co.jp](mailto:info@symbolic-control.co.jp)

**有限会社アルファ・プロンプト**

〒668-0063 兵庫県豊岡市正法寺 613 番地 1  
クリア第一ビル 2F 2005

TEL:0796-22-3373 FAX: 0796-22-8778

URL : <http://alpha-prompt.com>

E-Mail : [info@alpha-prompt.com](mailto:info@alpha-prompt.com)

